



新板  
繪入

鬼一法眼虎打卷

三



遠 13  
1.660  
3



1660  
3



鬼二は眼虎の巻 きうにわらわげんこ

巻之三

目録

第一

盗ハ雑刀ハ多クあるも此の仲 たうざつばたはたはたあはるもこのちゆう

秘夜ノ乱ニ發法ノ科ハ甚ク女 ひよのらんにははつぽうのしよはしんくうにむすめ

いはよりあひしやぬ酒すと乃大 いはよりあひしやぬしよすと乃おほ

足牙子ハ甚ク多クと惣括云の あしはしはしんくうたうとそうくわくぐもりの











松島山写書



して双子の洋子を懐かしく愛ゆれ人の世に昔育をそすはぬ人  
 何れもいふをいふのいひのいひの親ごの無常とて力をなすべし  
 のいふ合とてまを物あはれなり世の万力傍鬼徳はよげぬま  
 双子の洋子に別れなきごのた見鬼にぞな年月とて年よのほせの  
 ては都のまおこるのていふ年より後ほ今一人とつひのりた。徳  
 現と行儀とまはれぬたまよまはせのて教とねまひいひによりて  
 性現とる世あかるとんた。年よのこのまよ結縁の徳ありまはれ  
 ひえいこの武徳の鬼徳成はれ年よのまのまの双子のつられ年よの  
 現生の揚げのけは師の者命とらら。年よのまのまのまのまのま  
 わりと。世の清きまといつる陰陽とら文のまよとんぐ人知世の  
 四年のらとつら。死ねまぬとじり教はまひいひのまよ。年よの  
 業のまよとつひのいひのいひの七年のら年よのまよ。まよまよはれ

経の功力のらも安有ありけり。さればけとてあけらとらまの  
 まは定親お鬼の血腫とて自れと鬼も丸と。まよまよまよまよまよ  
 経本のた自を性現のまよいひとてまよまよまよまよまよまよ  
 くれいけまぬのまよ。今いひて鬼もぬいひとてまよまよまよまよ  
 一は眼ねのまよ。まよまよまよまよまよ。まよまよまよまよまよ  
 中絶まよまよまよまよ。経本のた自を性現のまよいひとてまよ  
 まよまよまよまよまよ。まよまよまよまよまよまよまよまよ  
 らまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ  
 まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ  
 女伴のまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ  
 南木の別苗のまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ  
 戻教まよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよまよ





くらりと笑とよみあつて。ゆき侍さまの児事だ。海が歌くふ意圖よのそ  
 けで半付とる。れとありは福舟のうごち、悲とそくち。なるものよぶるよ  
 きてよめとわれび。又ゆきの梅子代千らまのわいひりけ。ち地のあつらひ  
 若とくちく英ちり。とわけこころ鬼あふよんてんこあれた。ちとあよ  
 持まひ鬼あはれくそてあな。ア何と申今まよみてあせとこれ。  
 イヤヤ、うらこころとよむ。ち地のあつらひ。ささくくとがひのりけ  
 とつて。若の格併んさんとりと向く。英さ格と。あひ合ひのよん。ち  
 才のあつらひとよみさつら。後とわてあつ。鬼あたまに後とあつ  
 史のめいめて。後とよそそらあひあつ。ち力あつ。あつらひ。ち  
 ちとあつ。うらこころとよむ。ち地のあつらひ。ささくくとがひのりけ  
 とつて。若の格併んさんとりと向く。英さ格と。あひ合ひのよん。ち  
 才のあつらひとよみさつら。後とわてあつ。鬼あたまに後とあつ  
 史のめいめて。後とよそそらあひあつ。ち力あつ。あつらひ。ち  
 ちとあつ。うらこころとよむ。ち地のあつらひ。ささくくとがひのりけ  
 とつて。若の格併んさんとりと向く。英さ格と。あひ合ひのよん。ち  
 才のあつらひとよみさつら。後とわてあつ。鬼あたまに後とあつ  
 史のめいめて。後とよそそらあひあつ。ち力あつ。あつらひ。ち

鬼傍は越の林と。うらねねあつてあつ。とあまれと。例にあらは  
 ちあつ。梅子代千らまのわいひりけ。ち地のあつらひ。ささくくとが  
 ちとあつ。うらこころとよむ。ち地のあつらひ。ささくくとがひのりけ  
 とつて。若の格併んさんとりと向く。英さ格と。あひ合ひのよん。ち  
 才のあつらひとよみさつら。後とわてあつ。鬼あたまに後とあつ  
 史のめいめて。後とよそそらあひあつ。ち力あつ。あつらひ。ち  
 ちとあつ。うらこころとよむ。ち地のあつらひ。ささくくとがひのりけ  
 とつて。若の格併んさんとりと向く。英さ格と。あひ合ひのよん。ち  
 才のあつらひとよみさつら。後とわてあつ。鬼あたまに後とあつ  
 史のめいめて。後とよそそらあひあつ。ち力あつ。あつらひ。ち

(二) 夢かよりいあの際よからうりの思橋

ちとあつ。うらこころとよむ。ち地のあつらひ。ささくくとがひのりけ  
 とつて。若の格併んさんとりと向く。英さ格と。あひ合ひのよん。ち  
 才のあつらひとよみさつら。後とわてあつ。鬼あたまに後とあつ  
 史のめいめて。後とよそそらあひあつ。ち力あつ。あつらひ。ち



























